

## はじめに

「これまで高学年ばかりを担任していたから、2年生や3・4年生の担任は不安だな……」

「2・3・4年生の子どもたちが元気に伸び伸びと成長していくには、どんな言葉かけが有効かな……」

本書を手に取ってくださった先生方は、こうした不安や悩みを抱えていらっしゃるのではないかと思う。また、「小学校生活のど真ん中ともいえる2・3・4年生の実践をさらに深いものにしていく！」と、この学年の子どもたちへの指導をさらに高めようと思欲をもっている先生もいらっしゃると思います。

本書は、そうした先生方の悩みや不安に、「言葉かけ」による指導という視点で解決するために生まれました。

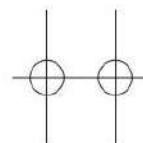
もっと子どもたちへよりよい教育を届けたい。私は、そうした強い思いから、これまで、次の2つのことを学んできました。

### ・コーチング

・NLP (Neuro-Linguistic Programming の略で、日本語では神経言語プログラミング)

そして、子どもたちのよりよい人生とは何かを考えるために、「well-being (ウェルビーイング：身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念で、「幸福」と翻訳されることも多い)」や、さらにはデンマークで行われている民主主義を中心とした教育についても学びながら日々の指導にあたっています。それらの学びから吸収したことを教育の現場の中で、子どもたちに対してどのように落とし込んでいくことができるかを模索しながら研究を深めていますが、こうした学びと実践の毎日から、教育においては、やはり「言葉かけ」が非常に大切な要素であることを確信したのです。

人は、言葉を栄養として生きているといつても過言ではありません



。偉人や有名人をはじめ他者の言葉にふれることで活力をもらい、家族や友人にやさしい言葉をかけてもらえば癒しになります。そして、「人生とは?」「学ぶということは?」と問い合わせられれば、それについてしっかり向き合い、考えていくものです。人間にとって言葉の影響が非常に大きなものであることは、言うまでもないでしょう。

このことは、小学生の子どもたちにとっても同様で、感受性の強い2・3・4年生の小さな子どもたちであればこそ、大人からの「言葉かけ」には強い影響を受けるのです。本書では「2・3・4年生」の3学年をつなげて扱いました。入学時に注目された子どもたちも、2年生以降から高学年になるまでは、学校全体からの注目度がどうしても落ちてしまがちです。しかし、先生方もご存じの通り、この3年間でどんな教育を受けるかで、子どもたちの育ちは大きく変わります。だからこそ、そこにスポットを当て、2・3・4年生の元気なエネルギーを輝かせるべく扱わせていただきました。

これからの時代を生きる子どもたちは、「どのようにしてよりよく生きるか」を実現する力を身につけなくてはいけません。それは、自分自身の力に気付き、自分自身で選び取り、自分自身でつくり出して決断するという力です。こうした力を子どもたちが身につけることができるかどうかは、日頃、子どもたちのそばにいる教師の日々の「言葉かけ」にかかってくるのです。

コロナの影響により大きく時代が変わろうとしています。教室には、1人1台端末も配備されました。私たち教師も大きく変わらなければいけません。さあ、コーチングやNLPの要素を含んだ言葉かけを取り入れながら、子どもたちとともに新しい時代の一歩を踏み出しましょう。

丸岡慎弥

## CONTENTS

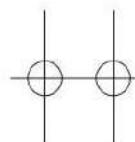
はじめに ..... 3

## CHAPTER. 1

### 2・3・4年生はここを押さえる! 言葉かけの超基本

- 1 学級開きからの1週間、1か月で必ず押さるべきこと ..... 12
- 2 丁寧なコミュニケーションで「学校が大好き!」を育む ..... 14
- 3 ギャングエイジの成長に合わせた言葉かけ ..... 16
- 4 2・3・4年生に効果的な言葉かけ① 承認 ..... 18
- 5 2・3・4年生に効果的な言葉かけ② 確認 ..... 20
- 6 2・3・4年生に効果的な言葉かけ③ 問いかけ ..... 22
- 7 2・3・4年生に効果的な言葉かけ④ 叱る ..... 24
- 8 言葉かけは言葉だけにあらず ..... 26
- 9 あらゆるネタを活用&駆使して子どもの心をグッとつかむ ..... 28
- 10 スケーリング・クエスチョンで判断力を身につけさせる ..... 30

COLUMN・1 -- やんちゃな子と発達障がいの子との見極め ..... 32



## CHAPTER. 2

### 決め手はここ! 男女別言葉かけの ポイント

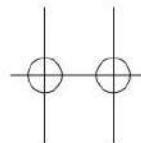
- 1 2・3・4年生男子への言葉かけポイント 基本の“き” ..... 34
- 2 2・3・4年生女子への言葉かけポイント 基本の“き” ..... 36
- 3 2・3・4年生男子のやる気を一気に高める言葉かけ ..... 38
- 4 2・3・4年生女子のやる気を一気に高める言葉かけ ..... 40
- 5 手に負えないやんちゃ男子を味方につける言葉かけ ..... 42
- 6 手に負えないやんちゃ女子を味方につける言葉かけ ..... 44
- 7 当番活動場面における男女別言葉かけのポイント ..... 46
- 8 授業場面における男女別言葉かけのポイント ..... 48

COLUMN・2 -- 学力差の解消法や指導の工夫 ..... 50

## CHAPTER. 3

### クラスがまとまり活気づく！ 学級活動場面での 言葉かけ

- 1 押さえどころは「意味」「理由」の分かりやすい説明 … 52
  - 2 1日のやる気を引き出す朝の会の言葉かけ … 54
  - 3 連絡事項から自主的な活動につなげる言葉かけ … 56
  - 4 話し合いが盛り上がるクラス会議での言葉かけ … 58
  - 5 助け合いが次々と生まれる言葉かけ … 60
  - 6 積極的に仕事に取り組む当番活動の言葉かけ … 62
  - 7 楽しみながらマナーも身につく給食の言葉かけ … 64
  - 8 自分の仕事に責任をもたせる係活動の言葉かけ … 66
  - 9 ふざけずに真面目に取り組む掃除の言葉かけ … 68
  - 10 1日の終わりを明日へつなげる  
帰りの会の言葉かけ … 70
- COLUMN・3**・自立心とともに芽生える「劣等感」 … 72



## CHAPTER. 4

### 落ち着きや成長をどんどん引き出す！ 生活指導場面での 言葉かけ

- 1 押さえどころは「できる！」を認める … 74
- 2 進んで挨拶ができるようになる言葉かけ … 76
- 3 学級ルールが自然と身につく言葉かけ … 78
- 4 時間厳守が当たり前になる言葉かけ … 80
- 5 どの子もきれい好きになる整理整頓の言葉かけ … 82
- 6 2・3・4年生男子のトラブルあるあるを  
スルッと解決する言葉かけ … 84
- 7 2・3・4年生女子のトラブルあるあるを  
スルッと解決する言葉かけ … 86
- 8 いじめの芽を摘み取る友だち関係チェック  
の言葉かけ … 88
- 9 学級トラブルをクラス全員で解決していく言葉かけ … 90
- 10 2・3・4年生だからこそ！登下校指導の言葉かけ … 92

**COLUMN・4**・心身ともに男女差に気付き始める頃の対応法 … 94

## CHAPTER. 6

# 個々の成長とクラスの団結を！ 行事指導場面での 言葉かけ

- 1** 押さえどころは「学校行事はおもしろい！」  
という気持ちののせ方 ..... 118
  - 2** クラスの目標をきちんとたせるための言葉かけ ..... 120
  - 3** 練習に集中して取り組むようになる言葉かけ ..... 122
  - 4** トラブルを自分たちで乗り越えさせる言葉かけ ..... 124
  - 5** 本番当日を最高に盛り上げる言葉かけ ..... 126
  - 6** 成功を自分たちでつかみ取らせる言葉かけ ..... 128
  - 7** 元気・勇気・自信を引き出す言葉かけ ..... 130
  - 8** 行事の成功・失敗を次につなげる  
ふりかえりの言葉かけ ..... 132
- COLUMN・6** • GIGAスクール時代の言葉かけ ..... 134
- おわりに ..... 135

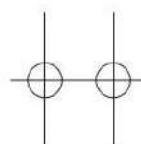
## 学級開きからの1週間、1か月で 必ず押さえるべきこと

学級づくりにおける成功のカギは、4月の学級開き、出会いの1週間にあるといっても過言ではありません。そしてまた、はじめの1か月は、その1年間のクラスの命運を握る大切な時期なのです。

### 2年生：はじめての進級による「不安」を解消

ついこの間までは1年生だった子どもたち。「進級」というはじめての体験による不安は、教師が考える以上に大きいということを忘れてはいけません。

「もう2年生」だからではなく、「まだ2年生」なのです。もちろん、「先生の言うことをきちんと聞こう」という指導を根本に置くことは必須ですが、まずは不安を取り除いていく視点が不可欠です。



### 3年生：少しずつ「自ら考える」を取り入れていく

3年生ともなった子どもたちは、少しずつ考えて行動することができるようになっていきます。4月の「はじめまして」の日から、「自分で判断して行動させる」ことを教師が意識して指導していくようにしましょう。

学級開きの日から、ほんの少しでも自分で判断して動く場面を仕掛けいくと、子どもの中に、自然と「自ら動く意識」が養われていきます。もちろん、まだまだ「先生の言うことをきちんと聞こう」が指導の前提であることは忘れないようにしましょう。

### 4年生：「自分でできる」×「素直さ」を引き出す

4年生の子どもたちには、もう低学年という意識はありません。自立心が大きくなり、どんどん自分たちで行動したがるもので、出会いの日から、どれだけ自分たちで行動させていくことができるかで、その1年間の成長が決まってくるともいえるでしょう。

それでも、まだまだ「先生の言うことはきちんと聞こう」という素直さは残っている学年でもあります。これらの特性をポジティブに捉えながら指導計画を立てていくのが必須です。

#### ここがPOINT



#### ADVICE!

どの学年でも、「先生の言うことはきちんと聞こう」が指導の前提です。その上で、学年の持ち味を見極め、1年間の成長目標に合わせた効果的な指導を仕掛けましょう。